

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-01		
施設名	清掃リサイクル事務所				
所在地	町屋五丁目19番1号				
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	219,907	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年7月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	昭和45年7月		職員数	78人	
構造	鉄筋コンクリート造		階層	新館:地上3階 旧館:地上4階	
面積	敷地面積			1,855 m ²	
	延床面積			新館:735.85m ² 旧館:1082.75m ²	
設置目的・経緯	区内廃棄物の発生抑制、再利用・資源化の促進及び適正処理 平成12年4月、都から特別区に清掃事業が移管				
関連部署	環境課				
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等				
駐車場の状況	有	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から まで
事業内容	廃棄物の収集・運搬及び処分、庁舎機能の維持管理等				
対象者	区民、事業者、職員				
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後5時15分			
	休日	日曜日、年末年始の指定日			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	作業(開所)日数(日)		310	310	309	311
電気使用量(Kw)		89,114	87,922	86,635	87,541	—
ガス使用量(m ³)		29,942	30,507	28,770	28,988	—
水道使用量(m ³)		6,081	6,079	6,048	6,455	—
に指定 に係る 等管理 費理						

備考 電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。

III 財務諸表

(単位:千円)

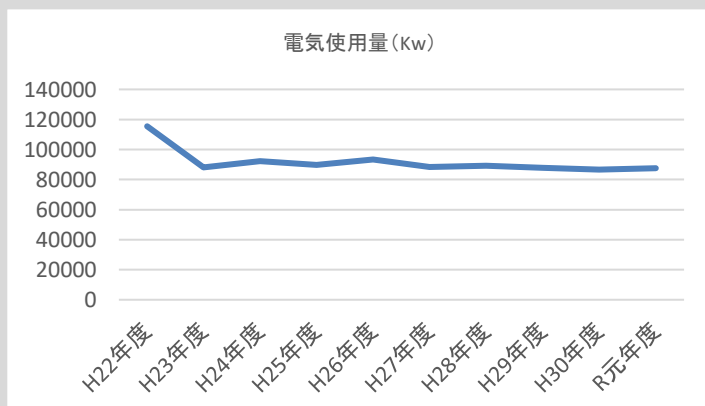
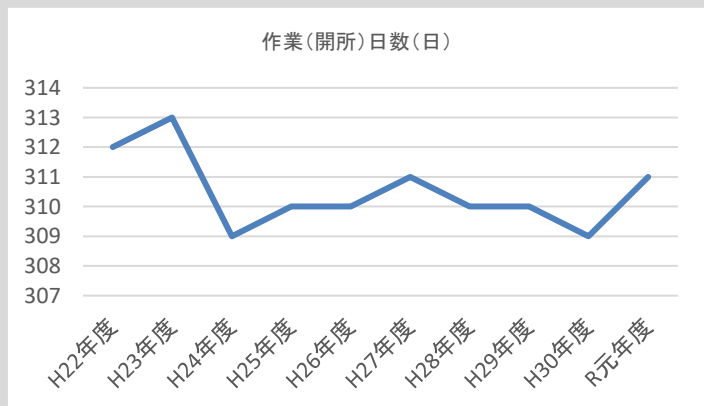
行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	505,053	583,142	78,089	地方税等	0	0	0
物件費	21,902	16,280	▲ 5,622	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	4,810	829	▲ 3,981	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	135	142	7	
減価償却費	5,776	5,776	0	その他	103	109	6	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	238	251	13	
賞与・退職給与引当金繰入額	28,481	88,555	60,074	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 565,784	▲ 694,331	▲ 128,547	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	566,022	694,582	128,560	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 565,784	▲ 694,331	▲ 128,547	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 565,784	▲ 694,331	▲ 128,547	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	28,481	33,315	4,834	
有形固定資産	380,018	374,448	▲ 5,570	その他の流動負債	0	0	0	
土地	326,611	326,611	0	固定負債	522,942	565,187	42,245	
建物	241,917	241,917	0	特別区債	0	0	0	
建物減価償却累計額	▲ 188,511	▲ 194,080	▲ 5,569	退職給与引当金	522,942	565,187	42,245	
工作物等	3,749	3,749	0	その他の固定負債	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲ 3,749	▲ 3,749	0	負債の部合計	551,423	598,502	47,079	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	▲ 170,786	▲ 223,641	▲ 52,855	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 170,786	▲ 223,641	▲ 52,855	
その他の固定資産	619	413	▲ 206	負債及び正味財産の部合計	380,637	374,861	▲ 5,776	
資産の部合計	380,637	374,861	▲ 5,776					

備考 物件費の内訳は、庁舎管理に係る清掃等の委託料のほか、消耗品費や光熱水費等である。維持補修費は、庁舎維持管理のための修繕費であり、平成30年度にガス管改修工事を行っているため減となっている。行政収入の「使用料及び手数料」は、労働組合事務室や公衆電話設置に係る使用料であり、「その他」は自販機設置に係る光熱水費等である。

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	33	76.0	78.3	80.5	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	31	28	28	27.7	
	1㎡あたりコスト(円)	352,020	381,895	311,241	381,932	
備考	令和元年度は前年度に比べ、1㎡あたりのコストは70,691円の増であった。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: _____)						
目標指標	指標名・単位	目標値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
		実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他(_____)	○ 他施設との統合	○ 廃止			
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: _____) ● 無						
利用者・地域のニーズ							
現状・課題	○施設の経年劣化に伴い、修繕費が増加している。 ○収集・運搬車両の駐車スペースの共存、作業員の待機・休憩場所を確保する必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○公共施設等総合管理計画等に基づき、計画的な改修等を実施する。 ○収集・運搬車両の駐車スペース、作業員の待機・休憩場所を施設内に拡大することは困難なため、南千住清掃車庫の有効活用を行っている。						
議会、利用者等からの意見							



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-02			
施設名	南千住清掃車庫					
所在地	南千住四丁目1番8号					
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	平成12年2月	380,197	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成12年2月		常勤・非常勤	その他		
供用開始年月日	平成12年4月		職員数	8人		
構造	鉄骨造		階層	地上3階		
面積	敷地面積				1,900 m ²	
	延床面積	管理棟: 994.80m ² 洗車場: 123.52m ²			m ²	
設置目的・経緯	廃棄物の収集・運搬車両の管理運営等					
関連部署	環境課					
根拠法令等 設置条例	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 荒川区廃棄物の処理及び再利用に関する条例等					
駐車場の状況	有	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ		
駐輪場の状況	有	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	—	期間	—	から まで
事業内容	収集・運搬車両の管理・整備・点検、庁舎機能の維持管理等				
対象者	事業者、職員				
運営時間等	運営時間	午前7時40分～午後4時25分			
	休日	日曜日、年末年始の指定日			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (見込み)
	作業(開所)日数(日)		310	310	309	311
電気使用量(Kw)		94,284	92,337	94,356	89,931	—
ガス使用量(m ³)		5,791	5,668	6,020	8,001	—
水道使用量(m ³)		2,253	2,280	2,015	2,124	—
に指定 等管理 費理						

備考	電気、ガス、水道の使用量はほぼ横ばいである。					
----	------------------------	--	--	--	--	--

III 財務諸表

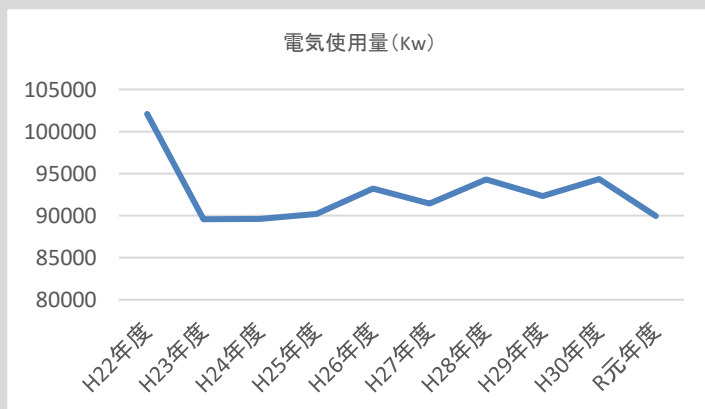
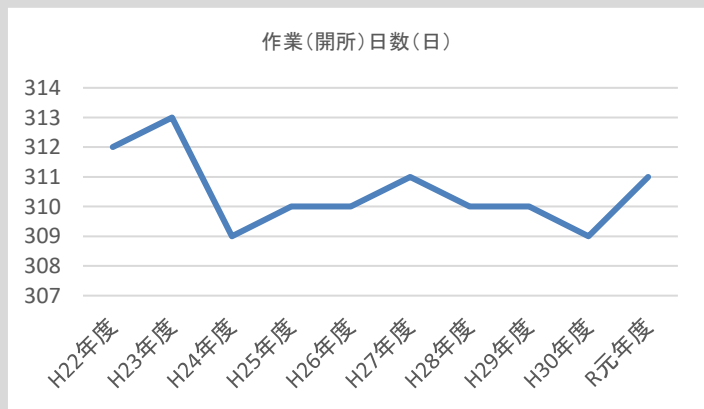
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額		
	行政費用	給与関係費	65,339	68,334	2,995	地方税等	0	0	0	
	物件費	8,395	7,050	▲ 1,345	国庫支出金	0	0	0		
	維持補修費	971	902	▲ 69	都支出金	0	0	0		
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0		
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	56	64	8		
	減価償却費	12,546	12,546	0	その他	56	57	1		
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	112	121	9		
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,685	10,377	6,692	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 90,824	▲ 99,088	▲ 8,264		
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0		
	行政費用合計(b)	90,936	99,209	8,273	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 90,824	▲ 99,088	▲ 8,264		
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	50	0	▲ 50		
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	50	0	▲ 50	当期収支差額(e)+(h)	▲ 90,774	▲ 99,088	▲ 8,314		
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額		
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,685	3,904	219	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	
	固定資産	有形固定資産	875,213	862,667	▲ 12,546		賞与引当金	3,685	3,904	
			土地	733,400	733,400	0		その他の流動負債	0	0
			建物	380,197	380,197	0		固定負債	67,654	66,230
			建物減価償却累計額	▲ 238,383	▲ 250,930	▲ 12,547		特別区債	0	0
			工作物等	64,856	64,856	0		退職給与引当金	67,654	66,230
		工作物等減価償却累計額	▲ 64,856	▲ 64,856	0		その他の固定負債	0	0	
	無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	71,339	70,134		
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産	803,874	792,533		
	その他の固定資産	0	0	0		正味財産の部合計	803,874	792,533		
	資産の部合計	875,213	862,667	▲ 12,546		負債及び正味財産の部合計	875,213	862,667		
備考	物件費の内訳は、洗車排水施設保守点検委託、昇降機保守委託や清掃委託等の南千住清掃車庫の管理・運営に係る委託料のほか、光熱水費や消耗品費等である。行政収入の「使用料及び手数料」は、配水管マンホールや電柱の占用に係る使用料であり、「その他」は自販機等設置に係る光熱水費である。									

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	63	65.3	68.1	71.0	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	33	33	33	32.7	
	1㎡あたりコスト(円)	82,188	93,879	81,315	88,713	
備考	令和元年度は前年度と比べ、1㎡あたりのコストは7,398円の増であった。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○竣工から20年近く経っていることから、経年劣化に伴う修繕費が増加している。 ○保有清掃車両及び職員の減少に伴い、施設のスペースを有効活用する必要がある。 ○車庫機能に加え、認証工場、洗車場機能を備えており、機能を継続していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○公共施設等総合管理計画等に基づき、計画的な改修等を実施する。 ○施設の一部を雇上会社職員の休憩場所や雇上会社車両の待機スペースとして活用している。 ○認証工場や洗車場について、区は代替施設がないことから、有効に活用している。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-04		
施設名	尾竹橋施設				
所在地	荒川区町屋7丁目16番21号				
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	平成7年12月	48,452	国・都	区債
	増改築①				一般財源
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成7年12月		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日	平成12年7月		職員数	0	0
構造	鉄筋コンクリート造		階層	地上2階	
面積	敷地面積			3,235.85	m ²
	延床面積			554	m ²
設置目的・経緯	リサイクル事業用品の保管に使用				
関連部署	環境課				
根拠法令等 設置条例	なし				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	まで
事業内容	(1) 3R普及啓発事業として開催する家具のリサイクルで展示する家具の保管 (2) 町会及び推進団体等に貸与する回収用折りたたみコンテナやペットボトル回収用ネット等の保管 (3) 組成調査及び排出原調査の検査場所					
対象者	区民					
運営時間等	運営時間					
	休日					
施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度(見込み)
	家具のリサイクル(提供個数)	43	-	-	-	-
	家具のリサイクル(開催回数)	1	-	-	-	-
	電気使用量(kw)	627	1,072	538	847	-
	水道使用量(m ³)	2	2	1	3	-
	ごみ排出量	0	0	0	0	-
に指定 等 管理 費						
備考	平成29年度から、家具のリサイクルの開催場所を「あらかわりサイクルセンター」に変更した。(年1回)					

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	900	890	▲10	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	2,910	2,910	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲3,810	▲3,800	10
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	3,810	3,800	▲10	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲3,810	▲3,800	10
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲3,810	▲3,800	10	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	617,289	614,379	▲2,910	その他の流動負債	0	0	0
	土地	561,895	561,895	0	固定負債	0	0	0
	建物	107,770	107,770	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲52,376	▲55,286	▲2,910	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	13,330	13,330	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲13,330	▲13,330	0	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	617,289	614,379	▲2,910
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	617,289	614,379	▲2,910	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	617,289	614,379	▲2,910	
資産の部合計	617,289	614,379	▲2,910					
備考	行政費用の物件費は、施設の機械警備や樹木剪定、害虫駆除に係る委託料等である。							

指標		H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	50	49.5	54.3	56.7	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	-	-	-	-	
	1㎡当たりコスト(円)	6,241	6,936	6,878	6,860	
備考	令和元年度は前年度に比べ、1㎡あたりのコストは18円の減であった。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	-	-	-	-	-	-
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> その他() <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容:) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○平成12年度に清掃事業の移管に伴い東京都から譲渡された施設。移管後20年間(令和元年度末まで)は清掃関連の施設として使用する必要があったが、現在も清掃リサイクル推進課が備品の保管等で活用している。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○令和元年度末で清掃関連施設としての用途指定期間が終了した。今後は都市計画公園「町屋公園」予定地として、関連部署と協議・調整していく。</p>					
議会、利用者等からの意見	<p>平成26年度予算特別委員会 「有効活用の検討」</p>					

令和2年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S07-02-03		
施設名	あらかわりサイクルセンター				
所在地	荒川区南千住三丁目28番69号				
部課名	環境清掃部清掃リサイクル推進課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	平成28年10月10日	862,058	国・都	区債
	増改築①				一般財源
	増改築②				862,058
併設施設	-				
竣工年月日	平成28年9月16日		常勤・非常勤	その他	
供用開始年月日		職員数	4	18	
構造	鉄骨造	階層	2階		
面積	敷地面積	1,999 m ²			
	延床面積	1,578 m ²			
設置目的・経緯	資源の長期的かつ安定した中間処理や資源の処理工程の見学、体感学習等の普及啓発事業を行う。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	廃棄物処理法第6条の2第1項 容器包装リサイクル法第6条第1項				
駐車場の状況	有	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	● 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から
事業内容	(1) 区内から回収した資源（びん、缶、トレイ、ペットボトル）の中間処理 (2) 区内の小学校及び町会等の施設見学会の実施 (3) リサイクル資源を使った工房・教室の実施				
対象者	区民				
運営時間等	運営時間	午前8時30分～午後5時15分			
	休日	日曜日、年末年始			

施設基本データ等		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度（見込み）
	団体来場者数（工房参加者、団体者数含む）		1,201	3,877	3,748	2,860
開館日数（28年10月10日開設）		146	311	308	310	312
工房・教室回数		58	145	111	68	50
工房・教室参加者数		189	557	624	351	250
工房・教室参加者申込率		38	50	62	60	60
施設見学実施小学校数		6	24	24	24	0
資源中間処理量（t）		1,282	2,627	2,654	2,710	2,720
に指定 用係等 管理 費理						

備考 平成29年度から区内小学校全24校の施設見学を実施している。

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	給与関係費	23,070	24,639	1,569	地方税等	0	0	0
物件費	25,534	24,503	▲ 1,031	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	230	0	▲ 230	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	102	0	▲ 102	使用料及び手数料	795	784	▲ 11	
減価償却費	36,468	36,468	0	その他	69	66	▲ 3	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	864	850	▲ 14	
賞与・退職給与引当金繰入額	1,988	3,742	1,754	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 86,528	▲ 88,502	▲ 1,974	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 436	▲ 432	4	
行政費用合計(b)	87,392	89,352	1,960	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 86,964	▲ 88,934	▲ 1,970	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 86,964	▲ 88,934	▲ 1,970	
貸借対照表	勘定科目	H30年度	R元年度	差額	勘定科目	H30年度	R元年度	差額
	流動資産				流動負債	15,753	37,556	21,803
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	14,420	36,148	21,728	
その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	1,333	1,408	75	
有形固定資産	761,492	725,024	▲ 36,468	その他の流動負債	0	0	0	
土地	0	0	0	固定負債	435,660	409,311	▲ 26,349	
建物	767,791	767,791	0	特別区債	421,580	385,431	▲ 36,149	
建物減価償却累計額	▲ 69,004	▲ 103,506	▲ 34,502	退職給与引当金	14,080	23,880	9,800	
工作物等	66,636	66,636	0	その他の固定負債	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲ 3,931	▲ 5,897	▲ 1,966	負債の部合計	451,413	446,867	▲ 4,546	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	310,079	278,157	▲ 31,922	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	310,079	278,157	▲ 31,922	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	761,492	725,024	▲ 36,468	
資産の部合計	761,492	725,024	▲ 36,468					

備考 物件費は、施設の維持管理に係る委託料や光熱水費が多くを占めている。

	指標	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	0.0	4.4	8.7	13.1	
	有形固定資産減価償却率(80年)(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1㎡当たりコスト(円)	11,537	103,405	55,389	56,631	
	人にかかるコストの割合(%)	33	14.8	28.7	31.8	
備考	28年度は10月に開設して10~3月の6月間、29年度は1年間分であるためコスト等が増加した。30年度は施設の管理コストのみ計上するよう変更したことにより、1㎡当たりのコストが減少し、人にかかるコストの割合が上昇した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: 整備計画)					
目標指標	指標名・単位	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度(見込み)
	団体来場者数	目標値	1,760	2,800	3,000	500
		実績値	857	1,921	2,086	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	<p>○中間処理行程の見学やリサイクル工房での体験を通して、来場者に3R(リデュース・リユース・リサイクル)への関心を持ってもらう機会を提供する施設となっている。</p> <p>○通年実施の工房のほか、長期休み等の機会に季節に応じた子ども向け工房を実施し、好評を得た。通年実施の工房については、参加人数等を分析して定期的に見直すほか、周辺施設との連携講座の実施等について検討する。</p> <p>○南千住地域からの来場者が多いため、区内他地域からも来場いただけるような工夫が必要である。</p> <p>○資源の中間処理を長期的に持続可能な状態とするため、安定的な稼働が必要である。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○今後はリサイクルセンターを、様々な形で区の3R推進に協力いただける「3Rリーダー」の発掘・育成の拠点として活用していく。</p> <p>○地域の様々なイベントや団体と連携し、リサイクルセンターのPRと普及啓発に努める。</p> <p>○区内他地域を対象としたバス見学会等の実施を検討する。</p> <p>○資源の中間処理施設として、引き続き、安定稼働できるよう運営・管理を行う。</p>					
議会、利用者等からの意見	平成28年度建設環境委員会「普及啓発の拠点としての活用」					